

第2章 景観の特性と課題

2-1.景観の特性

(1)地形変化が生み出す多様な景観

東西方向に連続する国分寺崖線と多摩川，また多摩川低地から武蔵野段丘面へ向けて約30m以上の高低差が生み出す南北方向の地形変化が調布らしい景観をつくる骨格となっています。

- ①国分寺崖線と多摩川がつくる市の東西方向に連続する骨格となる眺望景観
- ②南北方向に多様な地形変化が生み出す身近な眺望景観
- ③野川などの市街地を流れる身近な水辺景観
- ④大小の坂道と崖線緑地がつくる景観

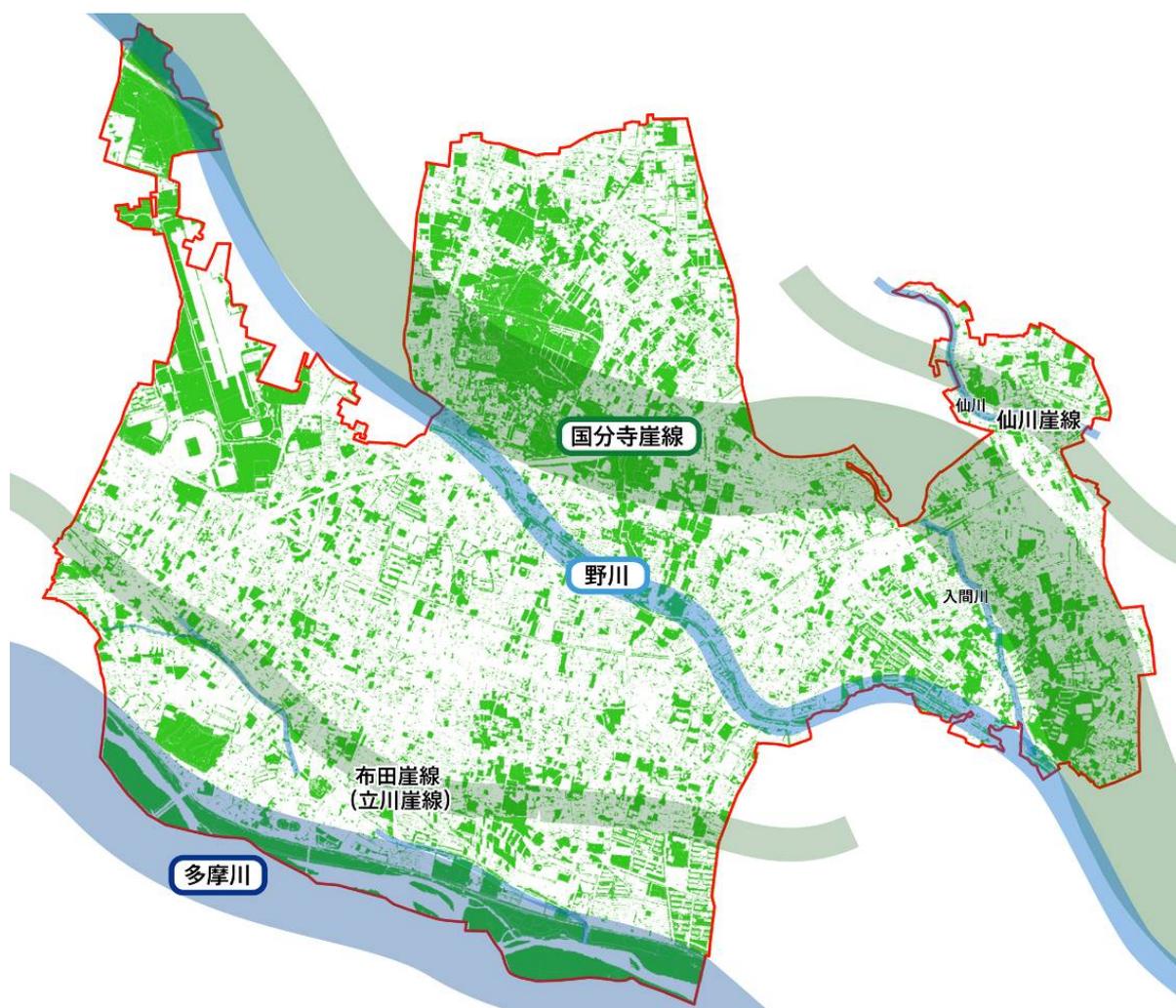


図 「地形変化が生み出す多様な景観」を示す景観構造(模式図)

①国分寺崖線と多摩川がつくる市の東西方向に連続する骨格となる眺望景観

ハケと呼ばれる国分寺崖線に分布する雑木林を中心とした斜面地は、貴重な自然景観を残す樹林地であり、市の特徴的な景観をつくり出しています。また、市域の南縁約4kmが多摩川に面し、市民の憩いの場となっています。



多摩川堤防から二ヶ領上河原堰方面(多摩川下流)への眺望

②南北方向に多様な地形変化が生み出す身近な眺望景観

崖線の地形変化による様々な眺望景観が市内各所にあり、空の広さや緑量を感じる市の特徴的な景観をつくり出しています。



都道 114 号から国分寺崖線への眺望



下布田遺跡付近の眺望

③野川などの市街地を流れる身近な水辺景観

市街地を流れる野川などの水辺空間が、市民生活と近い距離にあることで、のどかな景観をつくり出しています。また、水辺の桜や菜の花など四季の変化を市民が日々感じることができる景観となっています。



野川橋から望む住宅地の前を流れる野川(菊野台)



野川の桜並木



野川大橋から神代団地方面を望む



弁天橋から望む住宅地を流れる仙川(緑ヶ丘)

④大小の坂道と崖線緑地がつくる景観

大小 200 を超える様々な特徴や名称を持つ坂道と、国分寺崖線、布田崖線（立川崖線）などに残る緑地が、印象的な景観をつくり出しています。



まちの背景となる仙川沿いに残る仙川崖線の緑地



※布田崖線(立川崖線)に残る樹林地と坂(市民撮影)

注)キャプションに※印がある写真は、景観基本計画市民検討会(平成 23 年度)の委員が撮影した写真です。

(2) 街道沿いに発展したまちの成り立ちがつくる景観

市域を東西に貫く甲州街道と京王線を交通軸として、南北方向に市街化が進むことにより、自然環境と都市環境が編み込まれるように多様な景観が作り出されています。

- ① 甲州街道と京王線を東西軸として南北方向に広がる市街地景観
- ② 市の東西を貫通する主要交通施設がつくる景観
- ③ 市民生活を支える表情豊かな沿道景観
- ④ ゆったりと心地良い歩くことが楽しくなる歩行景観
- ⑤ 地域の景観拠点となる個性が漂う9つの駅前景観
- ⑥ まとまりのある土地利用がつくる個性的な景観

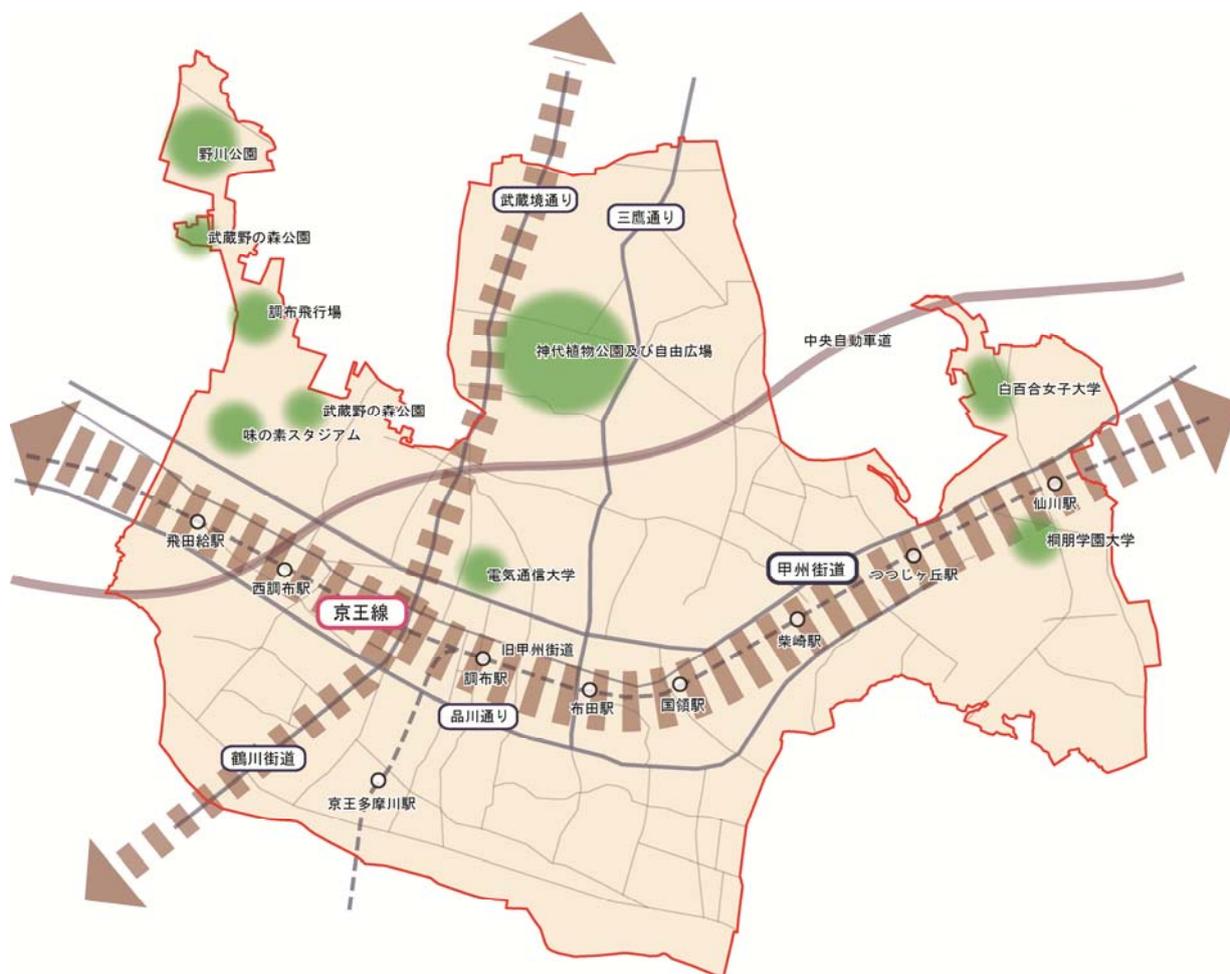


図 「街道沿いに発展したまちの成り立ちがつくる景観」を示す景観構造(模式図)

①甲州街道と京王線を東西軸として南北方向に広がる市街地景観

立地環境や市街地の形成時期などから、自然環境と都市環境が多種多様に混じり合うことで、地域ごとに個性的な景観が形成され、大小のパッチワークのように市全域に広がっています。



文化会館たづくり上階から望む市街地の広がり(味の素スタジアム方面)

②市の東西を貫通する主要交通施設がつくる景観

市街地中央を東西に貫く甲州街道と京王線が、市民生活を支える基盤となるとともに、まちの印象を高める景観を形成しています。



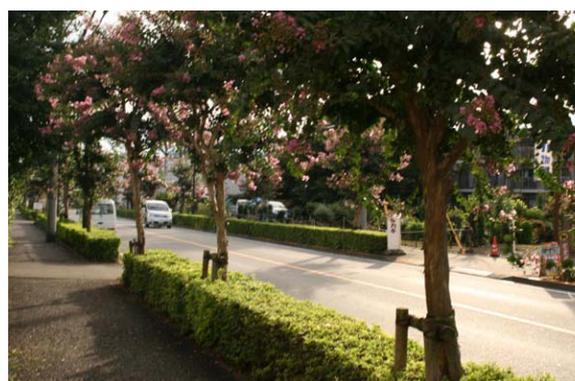
国分寺崖線を下る甲州街道のケヤキ並木

③市民生活を支える表情豊かな沿道景観

市民生活を支える道路は街路樹や沿道の地域特性などにより表情豊かな沿道景観を形成しています。



※桜堤通りの桜並木(市民撮影)



※品川通りのサルスベリ並木(市民撮影)

④ ゆったりと心地良い歩くことが楽しくなる歩行景観

市民生活を支える道路は、街路樹や沿道の地域特性などにより表情豊かな沿道景観を形成しています。



神代植物公園周辺の自由広場脇の歩道



※桜堤緑道の彫刻のある散歩路(市民撮影)

⑤ 地域の景観拠点となる個性が漂う9つの駅前景観

京王線沿いに発達したまちを特徴づける地域個性が漂う9つの駅前や商店街の景観が形成されています。また、京王線連続立体交差事業を契機とする新しい駅前広場の整備など、調布の顔ともなる駅前景観の形成や中心市街地の活性化も期待されています。



調布駅南口周辺

⑥ まとまりのある土地利用がつくる個性的な景観

味の素スタジアム、調布基地跡地運動広場などのスポーツ・レクリエーション施設や、神代植物公園、野川公園、武蔵野の森公園などの大規模公園など、特徴的な土地利用が地域の景観拠点となっています。



神代植物公園周辺の自由広場



味の素スタジアム